

# 青葉の子

＜学校教育目標＞  
夢と志をもち 心豊かで  
主体的に学ぶ 児童の育成

しっかり寝ル きちんと食ベル よく遊ブ 健やかに伸びル

## 梅雨の季節となりました・・・

6月中旬に早々と梅雨入りしてから2週間。雨の季節となりました。雨の日には、子どもたちが外で遊ぶこともできず、室内で過ごすことが多くなっています。児童会では「雨の日の過ごし方を考えよう」という議題で話し合いをし、みんなでルールを守って気持ちよく生活していこうと決まりました。

さて、そんな梅雨の合間を縫って、昨日プール開きを実施しました。半年の間にすっかり汚れてしまったプールの清掃を全校で行い、見違えるようにきれいになったプールでの学習を心待ちにしている子どもたちが多く見られます。また、学習面では1学期のまとめに向けて、熱心に学習に取り組む子どもたちの姿が見られます。

1学期終了まで残すところ1か月となりました。この1学期に頑張ったこと、成長したことを振り返り、成長を確かめ合いながら生活をさせていきたいと思えます。

地域・保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 科学巡回指導訪問

6月6日(水)、宮城県総合教育センターから9名の先生方をお迎えし、科学巡回指導訪問を実施しました。

3校時のデモンストレーションでは、科学の不思議に迫る様々な実験を披露していただき、子どもたちから歓声が上がっていました。4校時は各学年に分かれて観察や実験をしました。それぞれの学年で驚きと発見があったようです。また、6年生では新学習指導要領にも明記されているプログラミング学習を行い、ロボットを動かすためのプログラミングを経験することができました。



### 通学路の危険箇所を点検しました！

6月5日、古川警察署生活安全課の皆様のご協力をいただきながら、学区内の通学路点検を実施しました。これまでも本校職員による点検を実施していましたが、今回は警察の方にもいっしょに回っていただき、危険箇所を確認いたしました。また、6月18日には、大坂での大地震を受け、ブロック塀の倒壊の危険性という視点で通学路の再点検を行いました。

本日、登下校の安全確保についておたよりを配布しております。保護者のみなさまのご協力をお願いいたします。また、後日通学路危険箇所マップを配布いたしますので、お子さんと確認をしていただければと思います。

# 7月の行事予定

- 7月 2日(月), 3日(火) 学期末事務日(全学年短縮5校時限, 13時30分下校)  
4日(水) 講話朝会, 委員会活動  
5日(木) 朗読朝会(3年発表)  
6日(金) 5年 水生生物による水質簡易調査活動  
11日(水) 音楽朝会(2年発表)  
12日(木) 読み聞かせの会③  
13日(金) 着衣水泳教室  
18日(水) 集金日  
20日(金) 第1学期終業式  
24日(火) ~ 27日(金) 教育相談  
教育相談の日程については後日お知らせいたします。

朗読朝会, 音楽朝会に保護者の皆様もお時間があればぜひおいでください。8時20分から始めます。

## ~~~~学校通信~~~~

### ◆5月30日(水) ~ 6月1日(金) 5年 花山合宿

2泊3日の日程で, 国立花山青少年自然の家での合宿を行いました。学習の場を花山に移し, 自然の中でたくさんのお話を聞いて帰ってきました。友達との集団生活からも普段の学校生活では学べないことを経験することができ, 一回り大きく成長したのではないかと思います。

1日目のお駒山ハイキングでは, 登るのに苦労していた子もいたようです。今後, 普段からの体力作りにも積極的に取り組ませていきたいと思っています。



\*\*\*\*\*

### ◆6月12日(火) 古川西中学区一斉引渡し訓練

今回は学童保育へ行くお子さんについても訓練への参加を原則として実施しました。ご協力ありがとうございました。

非常時の引渡しについては, メール配信を原則としますが, 大規模災害等で停電となった場合にはメール配信ができなくなることがあります。大地震の場合は, 大崎市で震度5強以上を観測した場合, 自動的に引渡しといたしますので, メール配信を待たずに自主的に学校へお迎えに来ていただきますようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

### ◆6月19日(火) 人権の花運動

大崎市市政情報課, 人権擁護委員会の皆様においでいただき, 「人権の花運動(植栽)」を行いました。花を植える活動, 継続して花を育てる活動を通して, 命の重み, 生きるということについて考えることができる子どもを育てることをねらいとして実施しました。少しでも長く花が咲き続けることができるよう願いを込めながら植えました。花苗の扱いや水のやり方などを器用にできる子どもも多く, 普段から家庭で取り組んでいることが伝わってきました。これからも自然や生命を大切に育てていきたいと思っています。

